

# 白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046  
山口市本町1-1-25  
白石地域交流センター内  
TEL 083-941-5959  
FAX 083-941-5966  
<http://www.y-shiraishi.net/>  
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



SLやまぐち号(撮影/堀口理子)

2017年9月1日号 Vol.51

## 幕末維新やまぐち デスティネーションキャンペーン始まる!!

SLに向かって手をふるろう!

9月の運行予定日						
日	月	火	水	木	金	土
						1
③	4	5	6	7	8	9
⑩	11	12	13	14	15	⑬
⑰	⑱	19	20	21	22	⑳
⑳	24	25	26	27	28	29
						⑳

※○は運行日  
11時過ぎと17時過ぎに白石地区内を通過します

9月からのイベント(新型客車)  
9月2日(土) DC(デスティネーションキャンペーン)の初日

デスティネーションキャンペーンはJRと山口県、山口市等が強力にタッグを組んで行う大型観光キャンペーンです。

### その① 新型客車 歓迎イベント

来場の皆様へ  
お菓子をプレゼント  
(先着100名様)

SLに向かって手を振りよう  
山口駅11:11着 ▶ 11:13発

客車デビュー(着11:11→発11:13)

10:30～ 山口消防署(30名)によるコンサート  
11:11～ 昭和レトロ衣装を身にまとい、手旗を振っておもてなし

### SL「やまぐち」号 復活運転38周年イベントを開催しました

8月1日(火)、山口駅待合スペースにて、「アロハハイビスカス」によるフラダンス、「ほたるの会」による日本舞踊を披露していただきました。



### その② 旧型客車ごころうさまイベント

C56で旧客車が山口駅に入ります(着12:42→発12:49)

銭太鼓の実演  
昭和レトロ衣装を着用して「ありがとう」「ごころうさま」「おつかれさま」のプラカードを手におもてなし



レトロ衣装/昨年の様子



アロハハイビスカスのみなさん



ほたるの会のみなさん

9月10日(日) 9月24日(日) SLやまぐち号おもてなしイベント開催!!  
白石地区のみなさん!! 午前11時に山口駅に集合!!

山口七夕まつり  
ちょうちんまつり

迷走台風にも負けずに  
8月6日(日)のほたるの広場は大盛況!!

願い事を  
書いて...

ちょうちん  
飾り付け

いらしゃい  
ませ〜♪

フラダンス♪

南京  
玉すだれ♪

白石カフェ

アロハハイビスカス有志

ずっとけ仲良しクラブ

## チャレンジ健康づくり 白石すっきりボディを目指す会(第3回)を開催しました!

8月19日(土)、今期で3期目となる「白石すっきりボディを目指す会」も第3回を迎えました。

ウォーキングインストラクター 馬田義子氏を講師に迎え「すっきりボディはハッピーウォークから!」を合言葉に歩行姿勢のチェック、指導を受けました。



身体の軸が  
決まる姿勢

若々しく  
ウォーキング

馬田先生

第40回 勤王の女流歌人 野村望東尼<sup>のむらほうとうに</sup>② ～歌人への道～

武士の家に生まれる

野村望東尼は、文化3年(1806)9月6日、福岡藩士・浦野勝幸と、みちの娘として生まれ、もとと命名されました。浦野家は馬廻り組に所属し、300石取りの家でした。

彼女は13歳になると、林直統<sup>はやしただむね</sup>という武士の家で約3年間奉公することになり、そこで、料理、裁縫、掃除、礼儀作法など女性としてのたしなみを身に付けます。そして周囲ではこう噂されるようになります。

「浦野のシャンシャンは、ジョウモンのシャレモン(浦野のお嬢さんは美人で身だしなみもきちんとしている)」



野村望東尼誕生地周辺の様子(福岡市)

このように、もとは、幼い頃から賢く、美しい娘であったようです。

結婚

文政5年(1822)、もとは、17歳の時に、500石取りの福岡藩士・郡利貫<sup>こおりとしつら</sup>と結婚しますが、約半年で離婚します。そして、7年後の文政12年(1829)、24歳の時に、413石取りの福岡藩士・野村貞貫<sup>のむらさだつら</sup>と再婚しました。貞貫は当時35歳、和歌を好み温和な性格でした。

彼も再婚で、先妻との間には3人の子どもがいました。

子どもたちとの別れ

貞貫と先妻との間にできた長男は、もとが再婚する前に亡くなっていました。次男の貞則は、彼女が46歳の時に自殺。三男の貞一は彼女が53歳の時に病死。そして、四男の小助は彼女が56歳の時に玄界灘の大島に流され自殺してしまいます。

もとは、貞貫との間に4人の子どもを授かりますが、いずれも生まれてすぐに亡くなってしまいます。

「ただ一度 世にあらんとて 生いでし<sup>おい</sup>

こは何事の むくいなるらん」

たった一夜、人の世に出ようと生まれて来たこの子は、どうしてこのような報いをうけるのでしょうか…。そこには、悲嘆にくれる、もとの姿がありました。

大隈言道に入門

天保3年(1832)、27歳の時、もとは、貞貫とともに福岡の商人出身の歌人・大隈言道<sup>おおくまことみち</sup>の門をたたきます。

言道は、家業を顧みず歌ばかりに没頭していたため、暮らしは決して楽ではありませんでした。しかし、その誠実な人柄から多くの門人たちに慕われました。

こうして、もとは、貞貫とともに師・言道のあたたかい薫陶を受けながら、歌人として成長していったのでした。

山口祇園祭 御還幸 7/27

ワッショイ!



お神輿担ぎ手 白石地区精鋭の皆さん



ワッショイ!



みよさん お疲れさまでした!

明治維新150年記念講演のお知らせ

「長州藩はなぜ明治維新を成し遂げたか ～慶応の軍政改革者：大村益次郎～」

こやま よしまさ 小山良昌氏を講師にお招きし、講演会を開催します。

参加無料 学生さんも大歓迎!



日時：平成29年9月9日(土)13:30～  
場所：白石地域交流センター講堂  
申込：白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)  
白石地域交流センター(TEL 922-0381)